



第 11 号
令和元年
12 月 24 日発行

志高く

自ら考え 学び続ける生徒
心豊かで 思いやりのある生徒
体を鍛え やり抜く生徒



「善進に向けた本気・全力の挑戦」を振り返る - 「善進」を「開花」につなぐ -

石川 浩

「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められた「令和」という元号。その元号を冠した新しい時代の幕を開けた「令和元年」も残りわずかとなりました。そして「善進に向け本気・全力で挑戦する」ことを重点に掲げて取り組んだ深谷中学校の2学期が、今日終わります。「正々堂々と前向きに」という想いを加えて「三つのゼン」を意識した挑戦を積み重ねてほしいと話してきましたが、119日という長い2学期の中で、深中生の皆さんはどんな挑戦をどのくらい積み重ねたのでしょうか。



2学期は、「深中三大行事」と呼ばれている文化発表会・体育祭・校内音楽会だけでなく、運動部の新人戦の地区予選と県大会、駅伝大会、吹奏楽のアンサンブルコンテストといった大きな部活動の大会等が目白押しでした。部活動を引退した3年生は、高校受験に向けて学校内外で毎月のように複数回行われる実力テストに挑んでいます。1年生は福祉体験学習、2年生は3日間にわたる職場体験である社会体験チャレンジにも取り組みました。こうした様々な行事と並行して授業や生徒会・委員会等の日常的な活動も充実でき、11月20日には深谷市教育委員会の委嘱を受けた研究発表会を開催し、200名を超える先生方に深中の生徒と先生たちの学力向上への取り組みを見ていただくこともできました。

多岐にわたる行事や活動の中には、様々な“挑戦”の機会がありました。クラスや学年で、部活動で、そして一人一人等で、取り組み方も多様であったはずですが、また、“挑戦”ですから、既にできていることは対象とはなりません。深中生たちは、「まだできないことをできるようにする」「挑戦」に、行事等の機会を活かし様々な取り組み方で臨んでくれました。その時の自分を越えようとする“挑戦”は決して簡単ではなく、目標を達成できたものは案外少なかったかもしれません。

「できないの話はしない。どうやったらできるかだけを考える。…最善の方法を見つけ出し、徹底的に準備し、実行する。」この言葉に聞き覚えありませんか？日本通運という会社のテレビCMで流されている言葉です。まだ黒人差別が横行していたアメリカで黒人初のメジャーリーガーとなったジャッキー・ロビンソンは「不可能」の反対は「可能」ではない。「挑戦だ」と言っています。

“挑戦”の価値は、成功という結果ばかりではありません。「できないことをできるようにする」行為そのものや失敗にこそ大きな価値があります。生徒たちが学校を卒業し社会に出ると、その時点でできることだけで勝負することはできないでしょう。不可能を可能にする“挑戦”は、社会で活躍するために必須の資質となります。ですから、2学期のそれぞれの“挑戦”を、冬休みを使って一人一人がしっかりと振り返り、成功した理由も失敗した理由も、失敗については改善策も含めて考え、次の“挑戦”につなげるようにしておいてほしいのです。今年度の学校経営の方針に、「困難に挑戦しての失敗」をよしとし、失敗からも学ばせることで確かな前進を促す学校風土をつくるーやってもみないで『どうせ無理』と言わせないー」掲げました。困難から逃げず挑戦する姿勢を、深谷中学校の様々な場面で鍛え育てていきたいと考えています。第41代生徒会のスローガン「善進」と第42代生徒会のスローガン「開花」を、こうした“挑戦”でつないでいきましょう。

令和元年も深谷中学校の教育活動への深いご理解と温かいご支援をいただきありがとうございました。来る年も、保護者の方々や地域のみなさまと力を合わせ、ご家庭と地域の宝である生徒たち一人一人が美しく「開花」できるような力を尽くしてまいります。引き続きよろしくお願いたします。

2学期を振り返って

2学期終業式の中で、各学年の代表が今学期を振り返るとともに、3学期への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

栗原 莉穂さん
1年3組



2学期は、私たち1年生が初めて経験する深中三大行事がありました。三大行事を通して私を感じたことは、1学期よりもクラスや学年の団結力が強くなり、同じ目標の達成に向けて、みんなが考え・協力し合い・自分たちで行事を創っていくという意識を高めたということです。特に体育祭と音楽会は、体育委員や実行委員が中心となり練習計画を立て生徒が中心になって進めました。またまれない時も、うまくいかずけんかになりそうな時もありましたが、お互い声をかけ合ったり話し合ったりして、そうしたピンチを乗り越え絆を強くすることができました。また先輩方の体育祭での力強さや音楽会での合唱の美しさと迫りに圧倒されたことも印象に残っています。

3学期には1年生最大の行事であるスキー教室があります。この行事を通して159人の自治力を高められるかが成功のカギになります。これまで学んできたことを活かし、深中生としての自覚を高め、先輩に手本を示せる先輩になる準備を進める3学期にしていきたいです。

私が2学期で印象に残ったことは大きく二つあります。一つ目は文化発表会・体育祭・音楽会の深中三大行事です。三大行事が集まった2学期は、クラスの絆を強めるよい機会でした。初めはやる気のないような人もいましたが、練習を重ねるうちに目標に向けてクラスが一つになっていくことを実感できました。皆が皆のために取り組み、よいものを創ろうという意識を共有する心地よさを感じました。二つ目は社会体験チャレンジです。いつもと違う職場という環境での3日間で仕事のやり甲斐や社会の厳しさを知りました。また、自分の夢や長所などを再発見できました。そして、学んでいることを「今」で終わらせず「将来」につなげるために為すべきことを考え取り組んでいきたいと思いました。

私たちは次の3学期を終えると深中の最上級生になります。先輩方のように立派な3年生になるために、たくさんのことに目を向け挑戦し、深中の顔となる土台を築く3学期にしていきたいです。

私たちが3年生にとって2学期は、とても大事な期間でしたが、あっという間だったように感じます。3年生はどの行事も中学校最後と一人一人が意識し、これまで以上に真剣に取り組みました。勝つための作戦を夢中で考え、人任せにせずみんなで準備し、当日は本気で勝負にこだわり、そしてそうした全てを全力で楽しみました。学習も真剣でした。受験までの見通しをもち、自分で計画を立てて学習を進めてきました。自習の時間や休み時間さえ活用している人も珍しくありません。3学期になればさらに受験を意識するでしょう。

今の3年生の課題は、相手のことを考えて行動する意識が少し弱まっていることです。受験だからといって自分のことで精一杯にせず、周りの人のことを考える余裕をもちながら、本気で受験に挑んでいきたいと考えています。私たちが3年かけて学び身に付けてきた互いに尊重し合い、相手のことを考えて行動することを3学期も大切にし、3年生全体で協力して受験を乗り越えていきます。

河田 智輝さん
3年3組



1月の主な行事予定

日	曜日	主な学校行事	16	木	1年生スキー教室説明会・学級懇談会 屋清掃
1	水	元日	17	金	新生説明会 屋清掃 安全点検日
2	木	閉庁日	18	土	夢きらきらアート展 書きぞめ展
3	金	閉庁日	19	日	夢きらきらアート展 書きぞめ展
4	土	冬季休業日	20	月	
5	日	冬季休業日	21	火	3年生私立高入試直前指導⑥ 1年生スキー教室前健診
6	月	冬季休業日	22	水	3年生私立高入試中心日
7	火	冬季休業日	23	木	給食集会 いじめ非行防止会議
8	水	3学期始業式 給食なし	24	金	1年生スキー教室前健診
9	木	3年生実力テスト 給食開始	25	土	第3回PTA資源回収 県生徒美術展大里地区展
10	金	火曜日課 避難訓練 第3回PTA理事会	26	日	資源回収予備日 第8回北辰祭 県生徒美術展大里地区展
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月	成人の日	29	水	2年生学年志高の会・学級懇談会 屋清掃
14	火		30	木	進路検討委員会
15	水	登校指導 生徒会専門委員会	31	金	生徒評議会

